

日・スイス国交樹立160周年の概要

令和7年2月
在スイス日本大使館

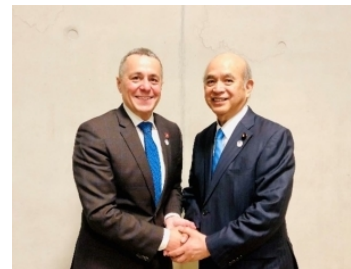
1 ロゴマークの制定

2023年8月～9月にロゴマークを公募。両国外務省の代表が審査員を務め、224点にのぼる応募の中から、フリブール州在住アントニ・シェルブアンさんの作品を選出しました。ロゴを使用するための事業認定申請手続も制定し、小史を紹介するパンフレットとともにホームページ内の特設ページに掲載しました。



2 要人の往来

6月15日、岸田総理（当時）がスイスを訪問し、ビュルゲンシュトックで開催されたウクライナの平和に関するサミットに出席しました。8月4日～8日にはアムヘルト大統領（当時）が訪日し、岸田総理との首脳会談、上川外務大臣（当時）との会談、木原防衛大臣（当時）との会談を行ったほか、天皇陛下によるご会見も行われました（出典：首相官邸ホームページ）。さらに、10月16日～20日、柘植外務副大臣（当時）がスイスを訪問し、ローザンヌで開催されたウクライナ地雷対策会議に出席したほか、カシス外務大臣との会談等を行いました。



3 叙勲、外務大臣表彰、在外公館長表彰の授与

マーティン・ヘルブ・スイス日本商工会議所（SJC）会長に旭日中綬章が伝達されました（9月）。安東一郎・安東康代グリーンデルワルト日本語観光案内所所長・副所長（5月）。ベルン歴史博物館（9月）。スイス・日本青少年交流協会（9月）。日瑞文化協会やまと（11月）。アリアナ美術館（11月）。パウアー東洋美術館（11月）。マルタン・ボドメール財団（11月）。スイス航空救助隊（REGA）（12月）に外務大臣表彰が授与されました。また、チューリッヒ空港教会（5月）。ジュネーブ州カルージュ市（9月）に在外公館長表彰が授与されました。



4 レセプション、式典

オープニング・レセプション

国交樹立の日である2月6日に大使館がレセプションを主催。ヌスバウマー・スイス国民議会議長（当時）ほか約150名の出席者の皆様に、北海道産ホタテや福島県のお酒等の安全性とおいしさを知っていただきました。



ベルン日本祭り前夜祭

ベルン日本祭り直前の9月5日、大使館がベルン歴史博物館で前夜祭を主催し、ブルゲナー移民庁長官ほかに御出席頂きました。引き続きたレセプションでは、大阪・関西

万博のプロモーションデスクを設け、約150名の出席者の皆様に、関西地方の料理や地酒を楽しみながら、万博について知って頂く機会にもなりました。



5 講演会

YOSHINO WOOD による「日本産木材に関する講演会」(2月) トムセン・チューリッヒ大学教授による「日スイス文化交流に関する講演会」(3月) 本庄萌・長崎大学准教授による「動物法に関する講演会」(3月) 藤山大使による「日本とスイス 普遍的価値を共有するパートナーに関する講演会」、橋長真紀子札幌学院大学教授による「日スイスのエシカル消費に関する講演会」(4月) 栗辻悠関西大学教授による「日本・ヨーロッパ比較法学に関する講演会」(6月)、中西寛京都大学大学院教授による「日本の安全保障政策に関する講演会」(9月) 藤山大使による「日・スイス国交樹立160周年に関する講演会」(9月、11月) 藤山大使による「日本を取り巻く安全保障環境に関する講演会」(10月) 芝池諭人・国立天文台ALMAプロジェクト研究フェローによる「日スイス惑星共同研究に関する講演会」(12月) が開催されました。

6 日本祭り

9月7日～8日にベルン日本祭りが開催され、2日間で5千人が参加しました。また、9月21日～22日にティチーノでの日本祭りであるJapan Matsuriが開催され1万7千人が参加しました。9月29日にはジュネーブでジュネーブ日本倶楽部(JCG)主催のJCG日本祭りが開催されました。



7 文化イベント

大使館主催

「日本映画上映会」(2月)「ショート・ショート・フィルムフェスティバル」(2月)「墨絵デモンストレーション」(5月) 大野敬正氏の三味線公演(9月)「切り絵展」(9月)等を開催しました。



他団体主催

バーゼル美術館の「浮世絵展」等、48件の認定事業がスイス全域で開催されました。

